

はじめに

本書は「大地」を使って日本語を教える教師のためのガイドブックです。

『日本語初級大地 1 メインテキスト』は、文型の導入・練習からまとめの活動までをコンパクトにまとめました。また、初級の学習者に日本語で日本語を教える際には文字よりもイラストを使った練習が有効であるとの観点から、練習に最適なイラストを豊富に掲載しました。

教師の役割はイラストの場面・状況と、必要な文法・語彙を示し、学習者の発話を確認すると共に、イラストから学習者が得た自由な発想を大切にすることにあります。練習する際に、学んだ日本語を使って自分自身のことを話すよう、学習者にぜひ働きかけてください。学習者自身が自分の言葉で話し始めたとき、表現する喜びや達成感を感じることができるでしょう。

本書に示す授業の進め方はクラス授業を行う際のひとつの例に過ぎません。クラスの形態・授業時間数、学習者数・学習者のニーズ・適性・学習歴・到達目標、教師の個性などによって、さまざまな使い方が考えられるでしょう。本書の授業の進め方を参考にして、有意義で楽しい個性豊かな授業を創造していただきたいと思います。さまざまな創意工夫を期待します。そして、それを同僚の先生方で共有し、お互いに楽しみながら向上しあえたら、望外の喜びです。

2010年10月 著者

目次

1章	メインテキストの進め方	7
2章	各課の教え方	13
3章	文型説明	137

付属CD-ROM

1) イラストカード (PDF、A4) 158点

- ①動詞 V ②形容詞 A ③名詞 N ④登場人物
- ⑤世界地図 ⑥その他

2) 文字カード (PDF、A4) 433語

- ①助詞 p ②記号 m ③動詞 v ④形容詞 a ⑤名詞 n
- ⑥文型 s ⑦疑問詞 q ⑧時刻 t ⑨数字 #

3) 語彙リスト (Microsoft[®] Excel)

- ①『日本語初級1 大地文型説明と翻訳』のすべての語彙
- ②品詞別語彙 (「動詞、形容詞、名詞」)
- 動詞活用表 (Microsoft[®] Excel)

6

到達目標：いつ、どこへ、何で、だれと行くかが言える
日付、誕生日が言える
誘うことができる

1-1.

ポイント：「N（場所）へ行きます／帰ります」

新出語：行きます、帰ります、北海道

用意する物：㊦イラストカード ①動詞「行きます」「帰ります」 ⑤世界地図、㊦文字カード ①助詞「へ」

練習の仕方：①イラストカードで「行きます」「帰ります」を教える。世界地図のアメリカを指さし、「アメリカへ行きます。」と例を示し、板書する。②Sから場所を示す既習の語彙を引き出して板書する。「うち、寮、国」などの「帰ります」と共に使うものが出たら、「行きます」と共に使うものと分けて書いておく。③板書を見ながら、自由に「～へ行きます。」と言いつつ。④「うち・寮・国」を指して、「～へ帰ります。」を教える。⑤『メインテキスト』のイラストを見て、練習する。

板書：アメリカ いきます。
うち かえります。

ぎんこう・しょくどう……

うち・りょう……

留意点：
・「へ」は「え」と発音することを教える。
・場所を表す既習の語彙すべてを出す必要はない。
・Sから「教室、学校」の言葉が出たら、隅に板書するにとどめ、**2-2**の「来ます」で使用する。

1-2.

ポイント：スケジュールが聞ける 言える。「N（場所）へ行きます」

新出項目：①どこへも行きませんでした。

練習の仕方：①曜日（5課）を復習してから「先週の～曜日どこへ行きましたか。」と質問する。**1-1**の板書を利用してよい。②例）～6）のイラストと『メインテキスト』P.191のイラストを確認し、その際に2）と5）は「土曜日どこへも行きませんでした。」とすることを教える。③Aは6）日曜日の、Bは3）木曜日の空欄を自由に埋めて、ペアで練習する。P.9（5）参照。**文型1**

2-1. 

ポイント：

日付、誕生日が聞ける／言える。「一月一日」

新出語：

誕生日、いつ、一月、何月*、一日、何日*、1日～10日、14日、20日、24日

用意する物：

カレンダー、㊦文字カード㊸記号「？」㊷疑問詞「いつ」㊹数字

練習の仕方：

①カレンダーで「一月」を教える。②「一日」を教え、数字カードで十分練習する。③「？」のカードを持って、Sに「誕生日はいつですか」と質問し、質問と答えを板書で確認してから『メインテキスト』のインタビューを行う。+α クラス内で誕生日の早い順に並ぶのも面白い。

板書：

A：たんじょうびは ですか。B：3がつよっかです。

発展練習：

①Tは1枚ずつ紙を配る。②Sは自分の誕生日を記入する。③Tは全員の紙を集めてシャッフルし、Sに1枚ずつ渡す。④Sは「誕生日はいつですか。」と聞いて回って、その誕生日の人を探す。P.9(5)、『メインテキスト』P.154参照。

留意点：

- ・「4月、7月、9月」「1日～10日」の言い方に注意する。
- ・日付は31日まで一度に教えず、5日ごとなどに分けるとよい。
- ・「何月何日ですか。」を教えて、「いつですか。」の代わりに「何月何日ですか。」を使ってもよい。
- ・日付の言い方の練習として、『文型説明と翻訳』P.55を使ってもよい。

2-2.

ポイント：

「N（日付）に來ます」

新出語：

來ます

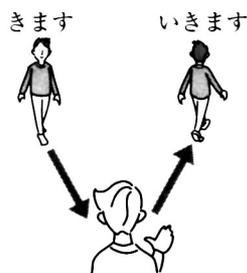
用意する物：

㊦イラストカード㊸動詞「來ます」、㊦文字カード㊸助詞「へ」「に」㊷疑問詞「いつ」

練習の仕方：

①「來ます」のイラストカードを見せ、「ここは教室です。教室へ來ました。」と言いながら、実際に教室の外から教室に入り、「來ます」と「行きます」の視点の違いを板書で示す。②「Aさんはいつ日本へ來ましたか。」と質問する。Sの答えを待って、「一月一日」のあとに助詞「に」がつくことを教える。③その後、『メインテキスト』のカレンダーは左上が月、右下が日にちを表すことを確認して、練習する。文型2

板書： きょうしつ へ きました。



A : Sさんは いつ にほんへ きましたか。
 B : 9がつ30にち きました。

2-3.

ポイント： 行く予定が聞ける / 言える, 時を表す「に」が適切に使える

新出語： 来月, 今月*, 先月*

用意する物： ㊦文字カード ㊦助詞「に」「へ」

練習の仕方： ①時を表す既習の語彙 (今晚・毎朝・昨日・来週・～年・～月・～日など) をSから引き出し、「に」がつく語彙と「に」がつかない語彙に分けて板書する。新出語の「先月、今月、来月」を教えて、板書に追加する。何月何日も追加する。②板書を見ながら、『メインテキスト』をペアで練習する。
+α 練習の冒頭に「どこへ行きますか。」「～へ行きます。」を加えて、ペアで自分のことを話す。

板書：

こんばん・きょう・まいあさ せんげつ・こんげつ・らいげつ いつ	<input type="checkbox"/>
1がつ・2がつ 2じ なんがつ・なんにち	<input type="checkbox"/>

A : いつ たいしかんへ いきますか。
 B : 4がつ26にち いきます。

留意点： ・板書を見て「に」の有無を意識するように注意を促す。

2-4.

ポイント： 来日した日を話題にしてインタビューできる

新出語： 去年, 今年*, 来年*

練習の仕方： 内容を確認後、インタビューする。P.9(6) 参照。 **+α** 「いつ国へ帰りま

すか。」という質問も行う。

3-1.

ポイント： 「N（交通手段）で行きます」

新出語： バス、飛行機、電車、自転車、歩いて

用意する物： ㊦文字カード ㊦助詞「で」「を」

練習の仕方： ①『メインテキスト』のイラストを見て、乗り物を表す語彙と「歩いて」を確認する。②「トムさんは北海道へ行きます。飛行機で北海道へ行きます。」と言いながら、助詞「で」で表すことを板書で確認する。『メインテキスト』の練習をする。 **文型3**

板書： トムさんは ひこうき で ほっかいどうへ いきます。
あるいて を

留意点： ・「歩いてで」とならないように注意する。
・「北海道へ飛行機で行きます。」など語順が変わる場合もあるが、ここでは手段・場所の順で練習する。

3-2.

ポイント： 交通手段についてインタビューできる、「N（交通手段）で行きます／来ます／帰ります」

新出語： 地下鉄

用意する物： ㊦文字カード ㊦疑問詞「なん」

練習の仕方： ①Tが「Sさん、何で学校へ来ますか。」と聞いて、答え方も確認してからインタビューする。P.9(6) 参照。 **+α** 週末の予定を話題にし、外出するSがいたら、「どこへ行きますか。」「何で行きますか。」「何時に帰りますか。」など自由に質問し合う。

板書： A：なん で がっこうへ きますか。
B：ちかてつ で きます。

留意点： ・交通手段を問うとき「なにで」を使い、理由を問うときに「なんで」を使い、「なに」と「なん」を区別することもあるが、「なにで」と「なんで」との区別が学習者にとって負担なため、ここでは「なんで」を使用する。

4-1.

ポイント： 「N（人）とV」

場面： だれと何をしたか聞いている

新出語： 一人で

用意する物： ㊦文字カード ㊦助詞「と」「を」

練習の仕方： ①「昨日どこへ行きましたか。」と聞き、「友達？ 先生？ S2さん？」と

言って同行者がいたかどうか聞き、Sの答えを板書する。②(1)～(4)のイラストの内容と「だれと～ましたか。」の疑問文を確認後、ペアで役割を交代して練習する。[+α]「日曜日、何をしましたか。」「だれとしましたか。」とペアで質問し合い、「Sさんは～さんと～をしました。」と聞いた内容を発表する。**文型4**

板書：
 A：だれ と スーパーへ 行きましたか。
 B1：ともだち と 行きました。
 B2：ひとりで 行

留意点：
 ・「一人で」とにならないように注意する。
 ・「行く／来る／帰る」だけでなく、「テニスをする」「ビールを飲む」などいろいろな行動について練習する。

4-2.

ポイント： 週末の行動について読める／言える

新出語： 動物園、パンダ、サラダ、週末

練習の仕方： ①各自『メインテキスト』の文を読む。P.10(8) 参照。②TがS数人に週末の行動を尋ねる形で書く内容を確認する。③Sは週末のことを各自作文する。P.10(9) 参照。④書いたものを発表する。P.9(7) 参照。

留意点： ・週末に限らず、思い出に残っていることを作文にしてもよい。

5.

ポイント： 友達が誘える。「Vませんか」

新出語： ケーキ、プール、食事します、一緒に、ええ、いいですね。すみません。ちょっと……。

用意する物： コーヒーカップ、文字カード 文型「ませんか」

練習の仕方： ①コーヒーカップを持ってSに近づき、腕をとって一緒にする点を強調しながら、「一緒に、一緒に、一緒にお茶を飲みませんか。」と誘い、Sの反応を見て、OKのようだったら「ええ、いいですね。」、難色を示したら「すみません。ちょっと……」と答え方を示して、板書する。②『メインテキスト』のイラストを見ながらペアで練習する。[+α]自由にクラス内を歩き回って、友達を誘い合う。P.9(4) 参照。**文型5**

板書：
 A：いっしょに おちゃを のみ ませんか。
 B1：ええ、いいですね。
 B2：すみません。ちょっと……。

発展練習： ディズニーランドや京都など場所の写真や、コンサート、スポーツのチケットなどを用意して誘い合うと楽しめる。

使いましょう

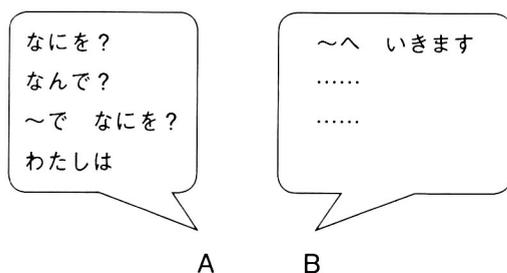
ポイント： 旅行について話せる

場面： 夏休みの旅行計画を話している

新出語： ドライブ、(お)祭り、バイク、花火、(お)寺、新幹線、温泉、船、夏休み、冬休み*、札幌、仙台、横浜、名古屋、京都、大阪、広島、別府、大阪城、原爆ドーム

練習の仕方： ①日本地図、観光地情報を見せて、興味を喚起する。『メインテキスト』見返し参照。②クラスでイラストの地名、交通手段、行動内容の語彙を確認し、会話の流れを示す。その際、ポイントを板書する。Sはペアで練習する。**＋α** 冬休みや夏休みなどの長期の休みのスケジュールを自由に考え、ペアで旅行計画について質問し合う。その後、相手から聞いた計画の内容をまとめて発表する。

板書：



留意点：

- ・1) は「札幌でドライブする」、2) は「仙台でお祭りを見る」のイラスト。
- ・旅行パンフレットや写真、観光地の映像などを見せるとよい。
- ・クラスで、人気スポットベスト3、ユニークな旅ベスト3などを決めるのも楽しい。

会話

場面： マリー・スミスと田中正男が週末何をするか話している

新出語： 高校生、会います、今度、～とき、～、田中正男

留意点：

- ・ここでは「とき」は「N+とき」の用法に限定し、語彙レベルで扱う。文法項目としては初級2の26課で扱う。

まとめ1

到達目標：基本的な助詞、疑問詞の用法
「Vます」の活用の整理
時を表す言葉のまとめ

1.

ポイント： 助詞の整理と復習

新出語： りんご、まとめ、おやすみなさい。

場面： キム・ヘジョンの1日の生活を話す

練習の仕方： ①助詞を（ ）に記入して、文を読んで確認する。 **＋α** 一日の生活を書いて発表する。

2.

ポイント： 疑問詞の整理と復習

用意する物： ㊦文字カード ㊧記号「？」

練習の仕方： ①「？」のカードを見せながら、「月曜日、火曜日？ 何曜日ですか。」と例を示す。1つずつ疑問詞を確認する。 **＋α** クラスをいくつかのグループに分けて「(今日/明日)は何曜日ですか。何曜日から何曜日まで勉強しますか。何曜日アルバイトをしますか。」など、1つの疑問詞でたくさんの疑問文を作る競争をする。

3.

ポイント： 「Vます」の現在、過去の肯定形、否定形の確認

4.

ポイント： 時を表す言葉の復習

練習の仕方： **＋α** 時を表す言葉を使って、「昨日の午後、新宿のデパートで中国のお茶と韓国のチョコレートを買いました。」など、できるだけ長い文をグループで作る。